

2021.01.18『色石の呼称について』【JGS Webinar】を受講して

ジーロンド 新城 靖

<http://g-rondo.com/>

「経験豊富なパネリスト諸氏のお話は、どれも有意義なものでした。」

AGL が、ピジョンブラッド、ロイヤルブルーの表記を鑑別書に認めるのはいいことだと思います。

エンドユーザーの方はやはり「お墨付き」が欲しいと思うからです。

ただ、100人が100人納得する色の基準は、やはり決めにくいと正直思います。

各パネリストの方々の経験談も楽しく拝聴しました。

カナリートルマリンやナミビア産マンダリンガーネットなど、ちょっと懐かしい宝石名でした。

一方で、インターネットの普及で間違った情報が発信されてるのも事実。

伊藤理事長がご指摘の通り、濃い色のアクアマリンを産出した鉱山は、サンタマリア鉱山ではなく、サンタマリア・デ・イタピラ鉱山。

情報を発信する側は、正確な知識をユーザーに伝えるべきだと考えます。

有意義なウェビナー配信 誠にありがとうございました。

これからも拝聴させて頂きたいと思います。